

The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

「男性育休体験」について

第2報（回答期間 2022年6月～7月）

日本整形外科学会 男女共同参画委員会

期間：2022年6月～

対象：①「男性育休」を取得した経験がある

男性会員

②「男性育休」を取得した経験がある
夫・パートナーを持つ**女性会員**

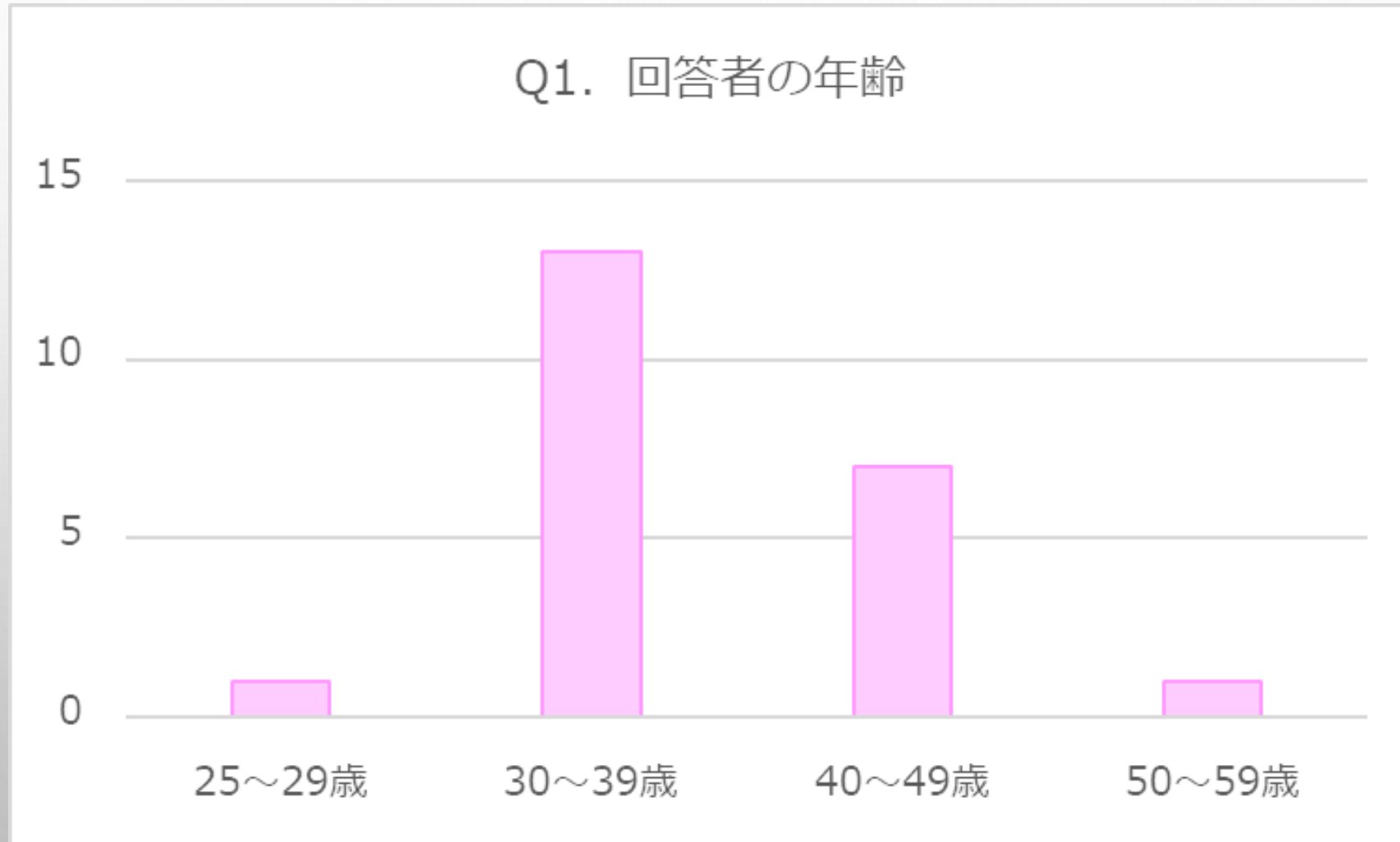
育休制度を利用した場合以外に、年次有給休暇等を代用して育休の代わりに利用した場合も本調査の対象とする

今回は【第2報】として、7月下旬までに回答された22名の女性会員の回答内容について報告する

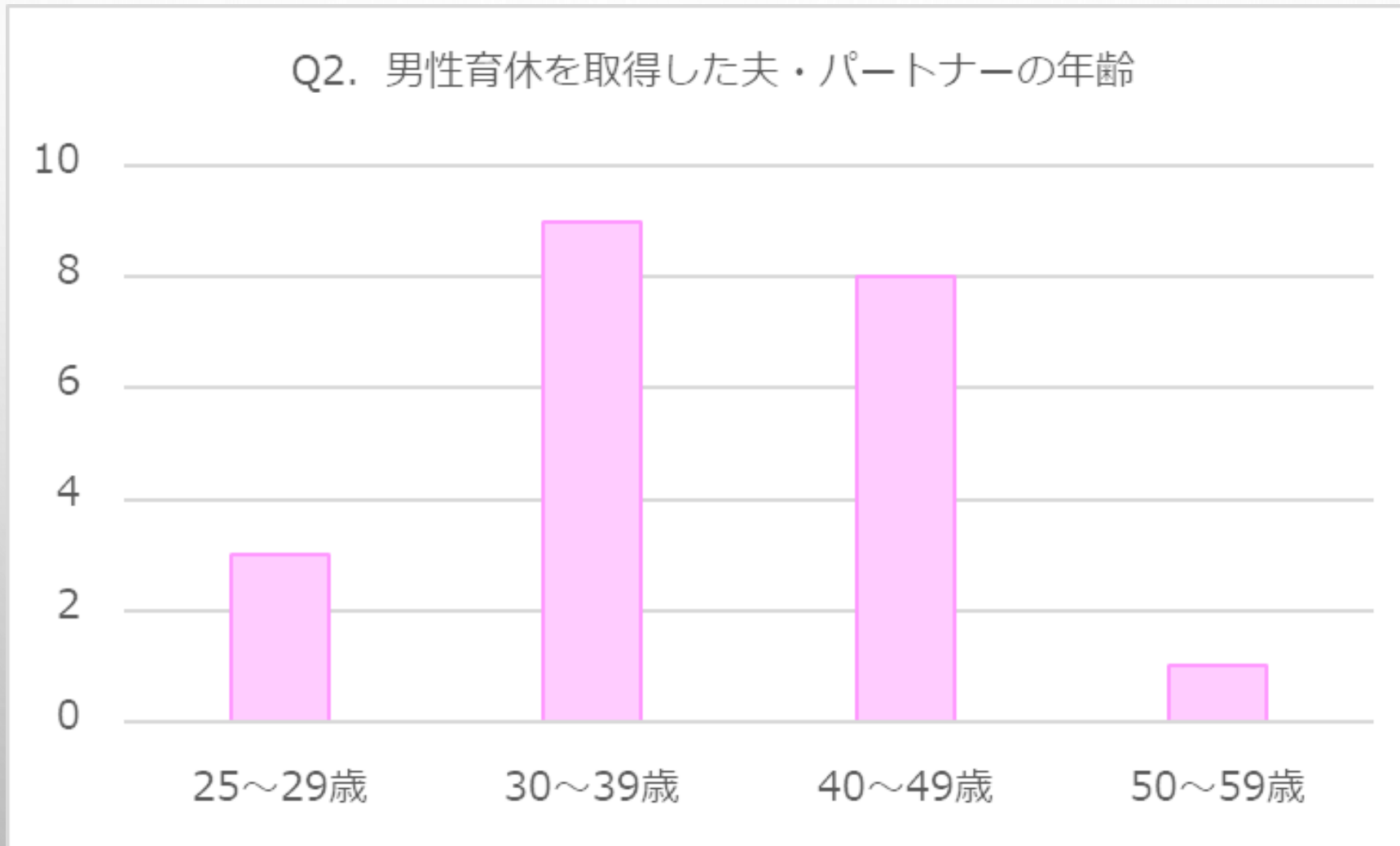
女性会員Ver. 回答フォームURL

<https://forms.gle/xnLdRSXYvnXJ14Nx9>

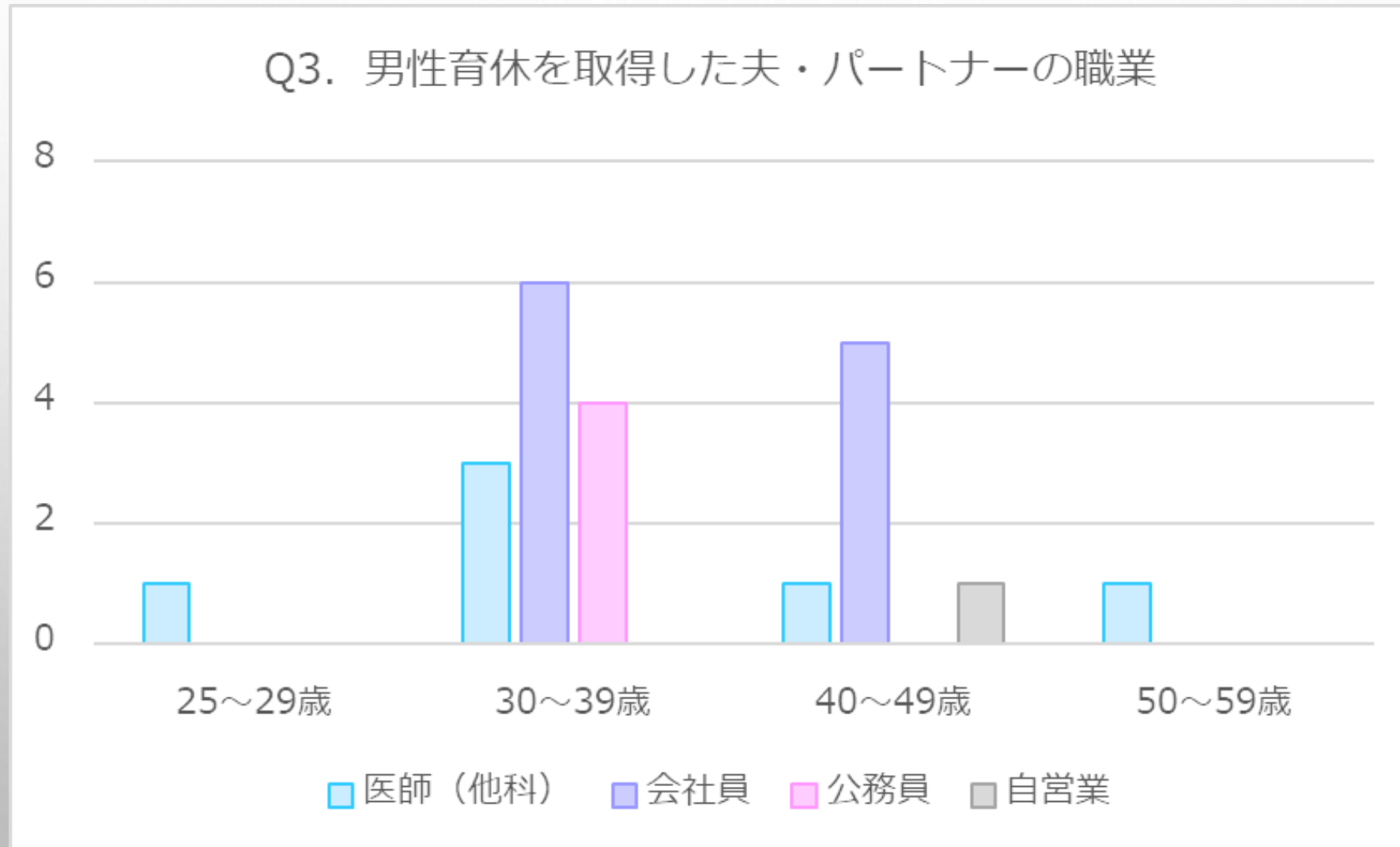
Q1. 現在のあなたの年齢を下記から1つ選択してください。



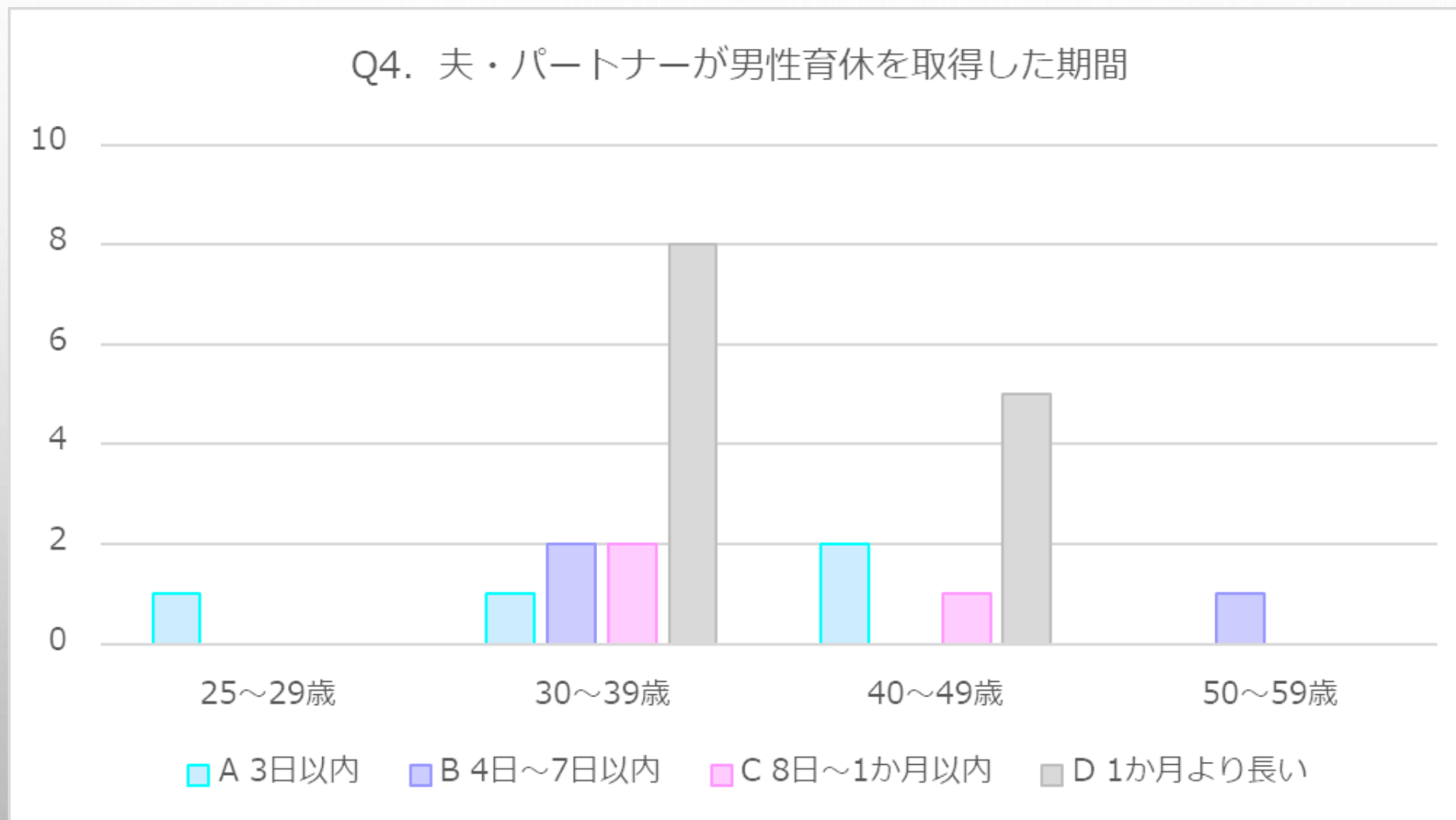
Q2. 男性育休を取得した夫・パートナーの年齢を
下記から1つ選択してください。



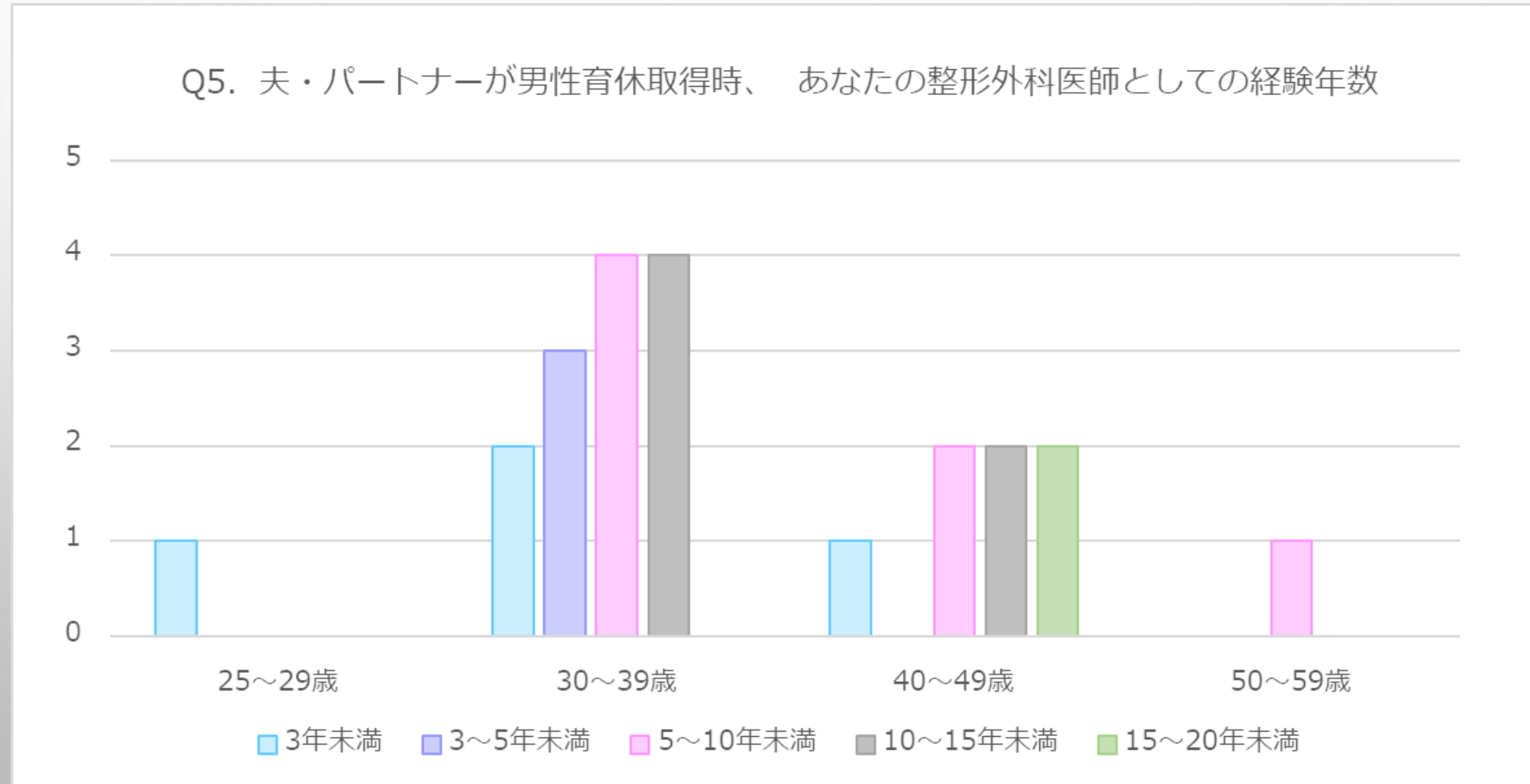
Q3. 男性育休を取得した夫・パートナーの職業を
下記から1つ選択してください。



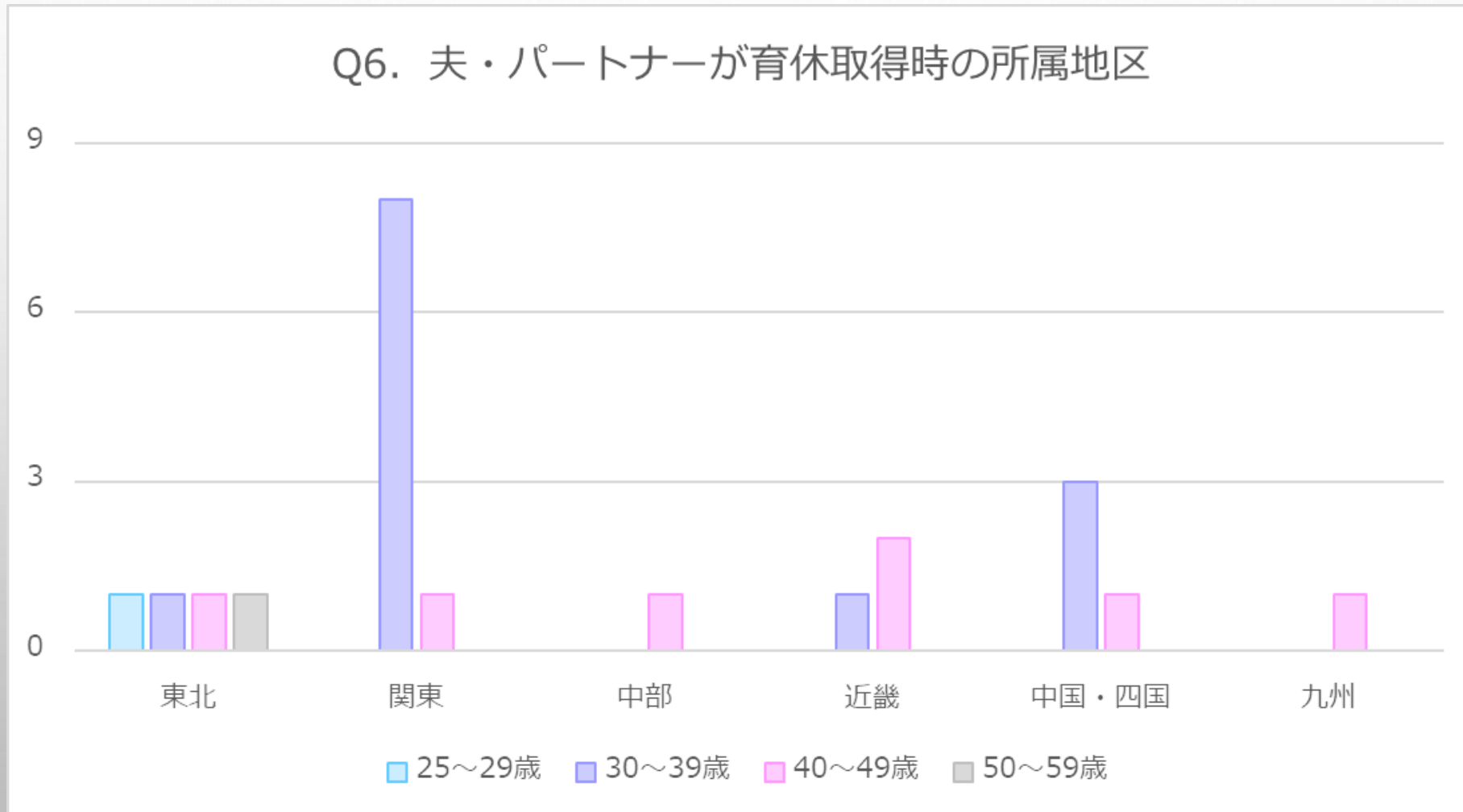
Q4. 夫・パートナーが男性育休を取得した期間についてお答えください
(期間の異なる休暇を複数取得された方は複数回答可)。



Q5. 夫・パートナーが男性育休取得時、あなたの整形外科医師としての経験年数を下記から1つ選択してください。

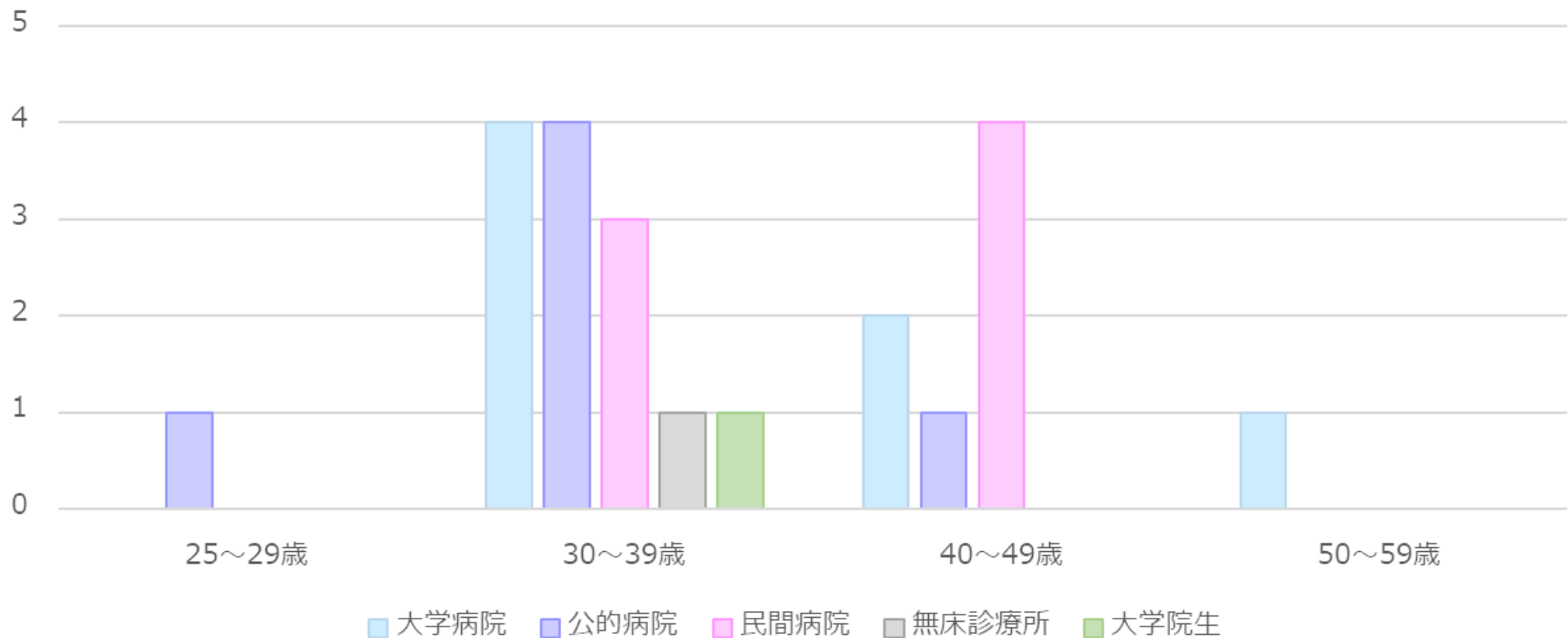


Q6. 夫・パートナーが男性育休取得時、あなたの所属地区を下記から1つ選択してください。

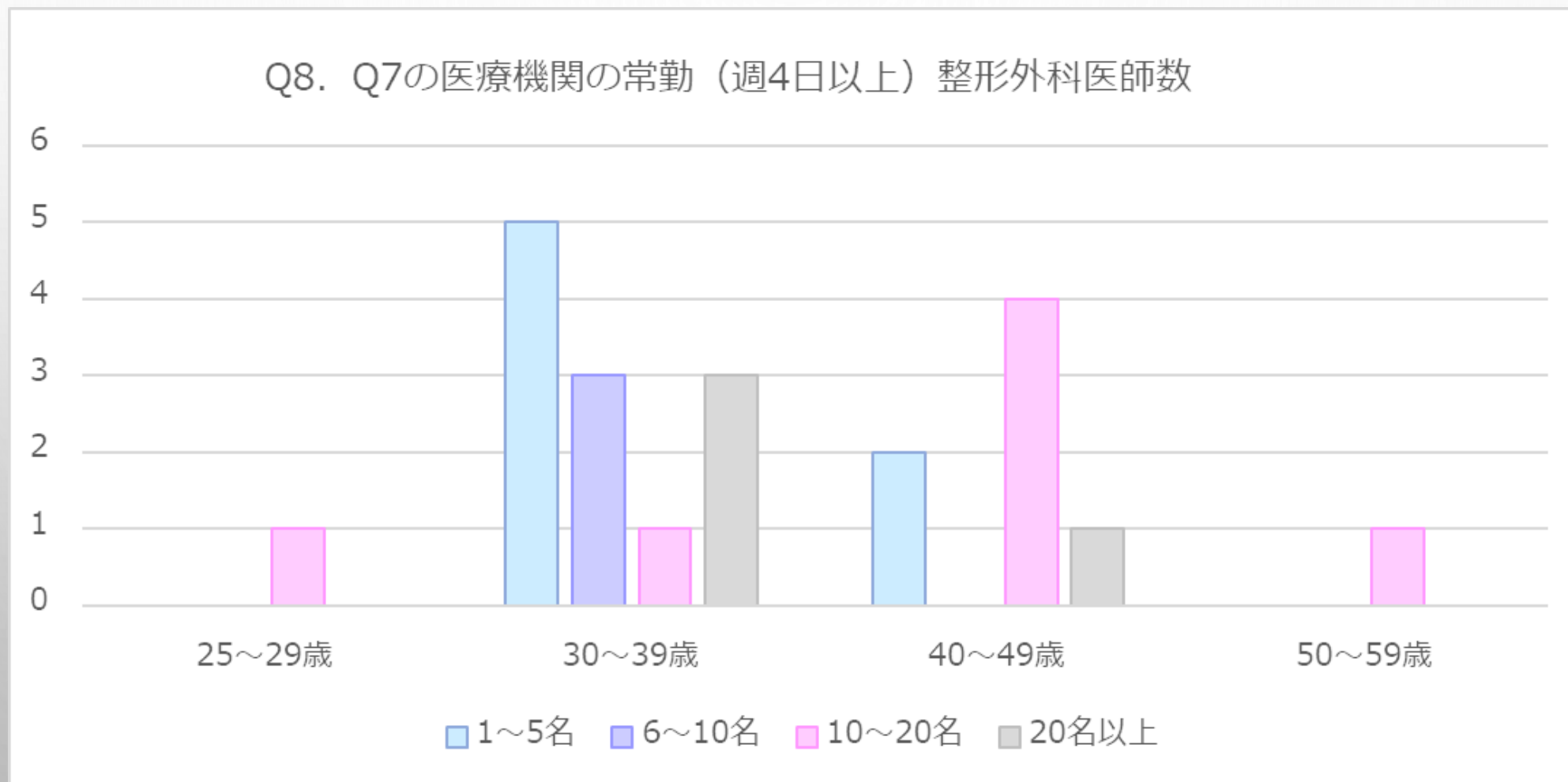


Q7. 夫・パートナーが男性育休取得時、あなたが主に勤務している（していた）医療機関の種類を下記から1つ選択してください。

Q7. 夫・パートナーが男性育休取得時、あなたが主に勤務している（していた）医療機関の種類

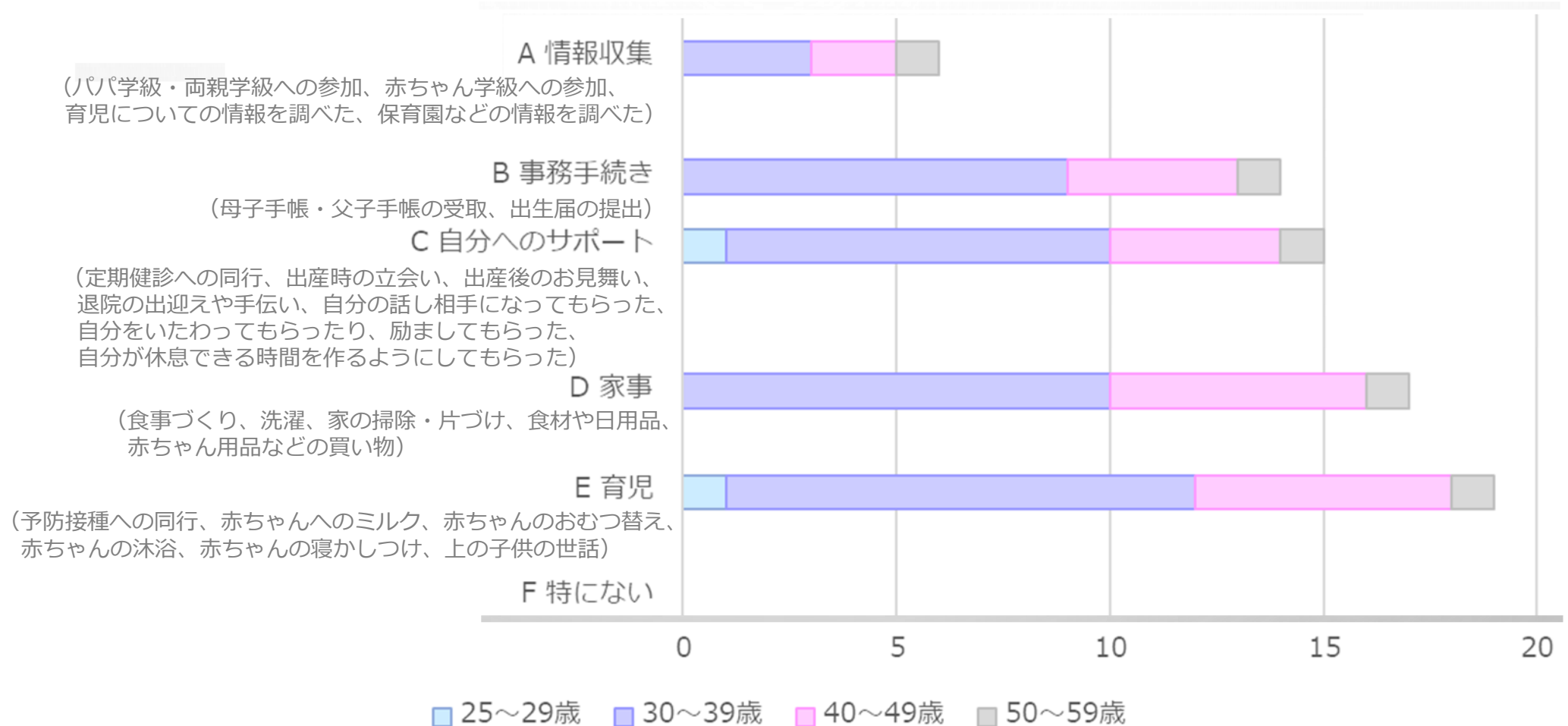


Q8. Q7の医療機関の常勤（週4日以上）整形外科医師数は何名ですか？



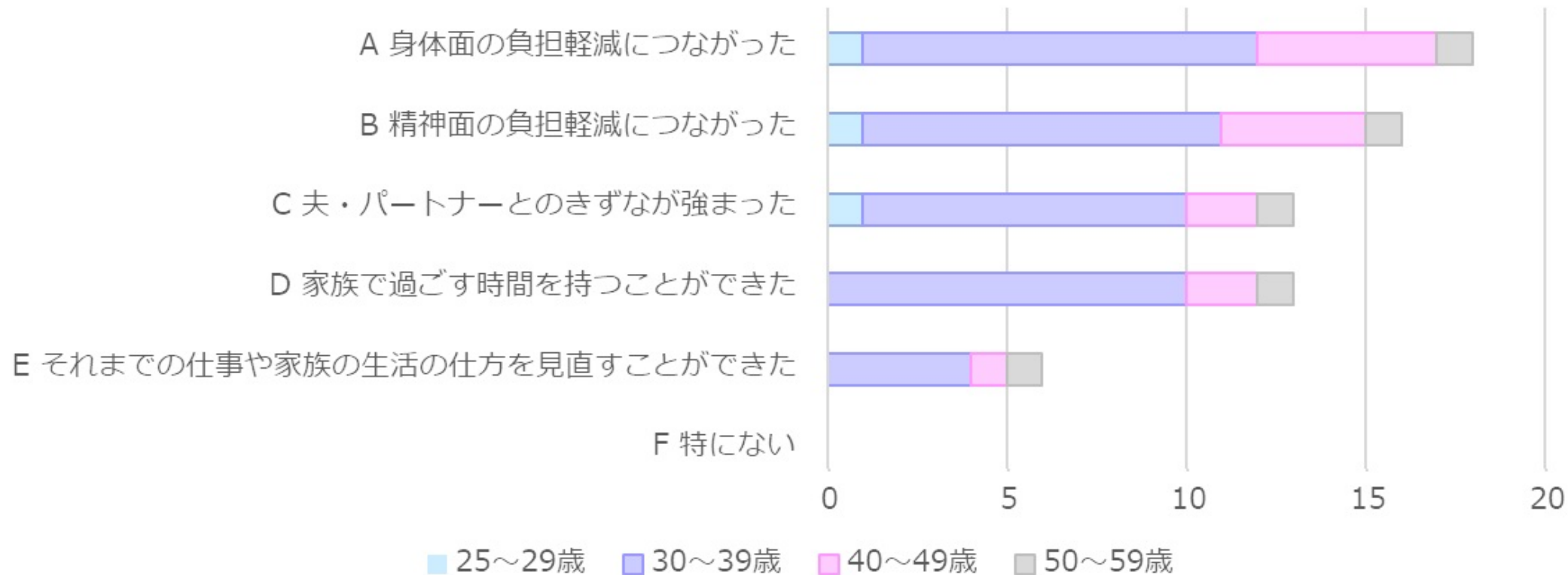
Q9. 男性育休取得時にしてもらったことを 下記から選択してください（複数選択可）。

Q9. 男性育休取得時にしてもらったこと（複数回答可）



Q10. 男性育休を取得してもらってよかったことを 下記から選択してください（複数選択可）。

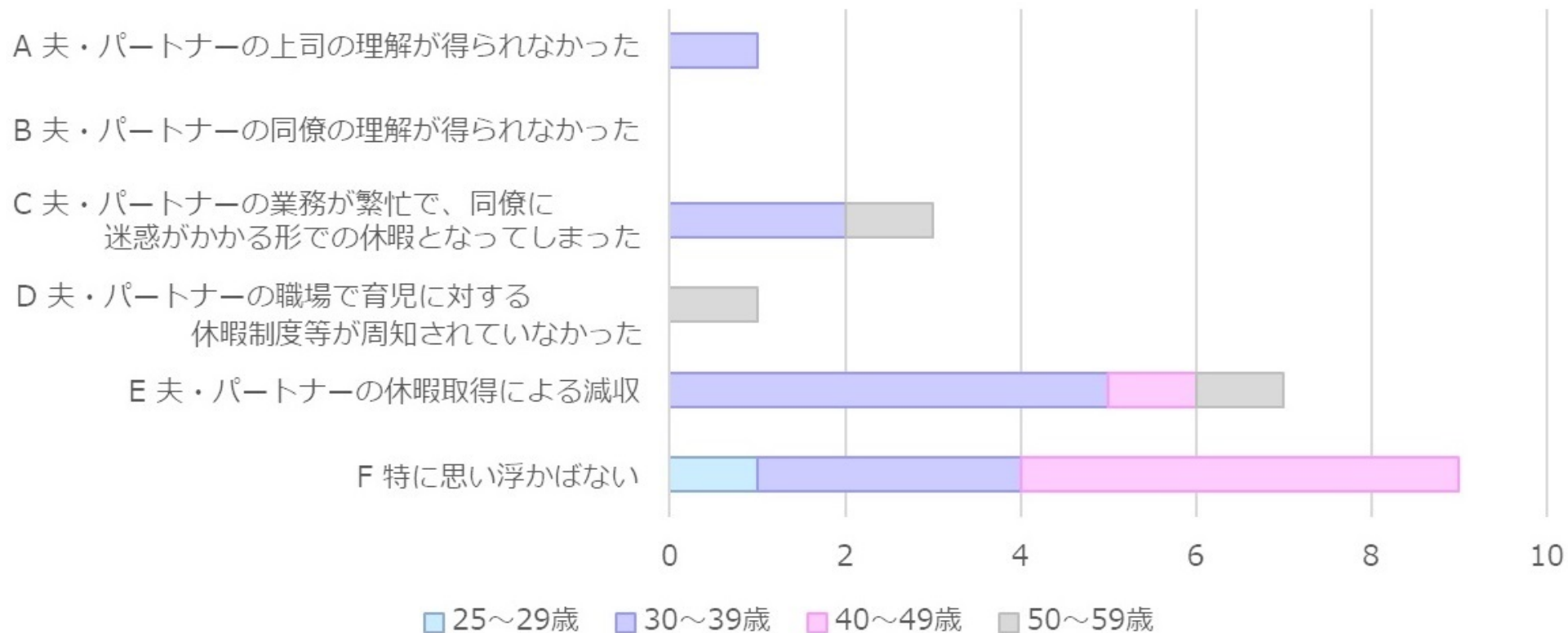
Q10. 男性育休を取得してもらってよかったこと（複数回答可）



その他：私自身のキャリア、仕事全く犠牲にせず子育てができています（40～49歳）。

Q11. 男性育休中に困ったことを下記から選択してください (複数選択可)。

Q11. 男性育休中に困ったこと (複数選択可)



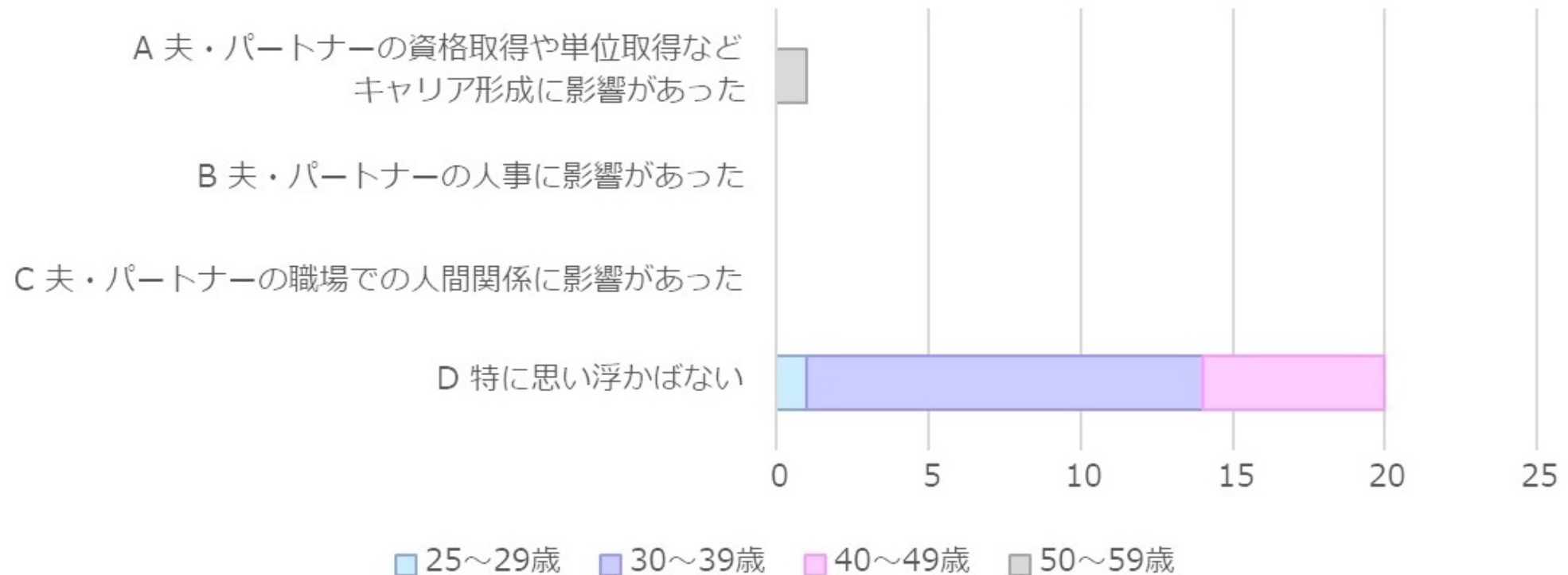
その他：育休が短すぎる (30~39歳)

事務に、手続きが煩雑なため育休ではなく有給を使うように言われた (30~39歳)

自分も育休で、ダブル主婦となり、喧嘩が増えた (40~49歳)

Q12. 男性育休終了後に困ったことを下記から選択してください (複数選択可)。

Q12. 男性育休終了時に困ったこと (複数回答可)



その他：夫にはそのまま仕事を辞めて貰って主夫になって貰った。主婦業の引き継ぎのためノリシロを作り、しばらくダブル主婦をした。きりのいいところから自分だけ復職した。(40~49歳)

「男性育休体験」についてのエピソード（抜粋） 1/4

※各コメントの末尾へ（現在の年代/育休取得時の整形外科経験年数）を記載

- ☆夫は途中で転職したため、1回目は5日間、2回目は10日間の育休でした（いずれも有給）。
2回目は自分は整形外科7年目、大学院生でしたので常勤先はありませんでした。相手も在宅勤務でしたので、育休が短くてもなんとかできました。お互いの仕事のフェーズに合わせて、どちらかが産後半年くらいは柔軟に育休が取れると良いと思います。外科の世界の、男女関わらず私生活を犠牲にすればするほど偉い、という風潮をなんとかしないことには、女性医師が整形外科を選ぶことはなくなり、今後整形外科は先細りとなっていくと感ずます。（30～39歳/3年未満）
- ☆自分の勤務先では育休が認められていなかったが、夫の勤務するのは一般の会社であり、育児にも理解があり育休を取得できた。結果、家族のお互いの状況把握、理解につながり、とてもよかった。ちょうど新型コロナウイルスの流行で、上の子供たちの保育園が頻繁に休園になったため、夫が上の子供たちの相手をしてくれて助かった。夫の会社では育休手当もあり、収入減にはならないことも有り難かった。（30～39歳/10～15年未満）
- ☆夫の職場の規定により、育休申請は出産後しかできず、また申請してから実際に休暇を取得できるまで1週間かかった。その期間は里帰りをして過ごしたが、移動等の負担もあったため、申請後は速やかに育休を取得できるようにしてほしい。夫は約2ヶ月間の育休を取得したが、事前に負担の少ない部署への異動を希望して、なるべく職場へ負担がかからない形とした。夫は、育休初期は育休に入るまでの出産準備に自分の関わりが不十分であったことに気づき反省していた。しかし一緒に育児を経験したことで、私が職場復帰後に当直や出張で不在にしても、1人で子供の面倒をしっかりと見れる。現在では保育園の送り迎えは夫の役割である。母親でもある女性医師が1人分の仕事をこなすためには、このようなパートナーの支えは必要不可欠と考える。是非、男性医師の皆様にも育休を取得していただきたいし、マンパワーを補うためには我々女性医師もある程度は残業や当直ができる環境が必要だと感じる。（30～39歳/10～15年未満）
- ☆自分の夫だけかもしれないが、男性は要領よくやること、手順を省くこと、だけど要点は押さえること、が下手なように思う。特に料理と洗濯。育休にいきなり入っても何の役に立たない可能性が高いので、育休に入る前から家事を練習しておくことが肝要。今では立派な主婦ですが、3年かかったと思います。（40～49歳/10～15年未満）

「男性育休体験」についてのエピソード（抜粋） 2/4

※各コメントの末尾へ（現在の年代/育休取得時の整形外科経験年数）を記載

- ☆私が専門医取得前であり早期復帰したかったため、私が産休が終わってから、子供を保育園に預けられる月齢になるまでの期間を旦那に育休をとってもらいました。不安はありましたが、子供と旦那2人きりで過ごしてもらうことで、子供のことや家のことをなんでも任せられるようになり、共働きになってからも協力しやすく感じました。（30～39歳/3～5年未満）
- ☆両方の両親は共に遠方のためほとんどワンオペ状態でした。産後1.5ヶ月に1日とってもらいました。初めての出産、育児で慣れないことばかりでその直前にひどい睡眠不足で精神的に落ち込みました。その時に旦那さんが職場に掛け合ってくれ、1日だけ平日にお休みをいただき、育児家事を分担できました。3時間程度のまとまった睡眠を取れたのは久しぶりだったので大変助かりました。（25～29歳/3年未満）
- ☆育児に「主体的に」かかわった経験を持たないと、育児の大変さや仕事との両立の大変さが理解できないと思います。育児をほとんど妻に任せている人はもちろんのこと、「自分の仕事に支障のない範囲で育児を手伝っている人」と「自分が育児をしている人」の間には大きな溝を感じます。医師として大人として、視野が広がるチャンスでもあると思いますので、女性と同程度にまで、男性の育休取得が進むことを期待します。（40～49歳/5～10年未満）
- ☆同時に取っているときは、産後2ヶ月もすればどちらかが暇になるので、復帰したときの学会の準備または自由時間に充てていた。（40～49歳/3年未満）
- ☆男から仕事、社会との関わりを取り上げてはいけないとつくづく思いました。一例に過ぎませんが。（40～49歳/15～20年未満）
- ☆男性育休をとっていない人向けの質問もあると良いのかなと思います。（30～39歳）

「男性育休体験」についてのエピソード（抜粋） 3/4

※各コメントの末尾へ（現在の年代/育休取得時の整形外科経験年数）を記載

- ☆事務手続きは必須ですが、自分ではなかなか行けないので、大変助かります。特に退院して直後は色々大変なので、個人差はあると思いますが、自分の場合は夫が休んでくれたら精神的に心強く思いました。（40～49歳/10～15年未満）
- ☆2回目の育休の時は主に上の子の相手をしてくれたのはよかったです。家事は家に泊まりで来てくれた義母にほぼ任せてました。3日くらいじゃ育休に入らない、と今は思ってますが当時はそれがやっとでした。（40～49歳/5～10年未満）
- ☆退院直後の1週間と、自分が産後3ヶ月で復帰したので、夫がその後1ヶ月育休取得。母親が急な呼び出しなどで不在にしても、夫のみでご飯やお風呂など対応してもらえて助かります。子どもも父親との時間を楽しんで過ごしています。
(30～39歳/3～5年未満)
- ☆整形外科は放射線を扱うため、妊娠中にできない手術が多く、キャリアのため産後すぐに復帰する事にしましたが、その点でも夫が育児に多く関わってくれたことはありがたかったです。（30～39歳/3～5年未満）
- ☆二人目以降は、育休ではなくしばらく9時～17時勤務にしてもらった。保育園送迎にはそのほうが助かった。育休は入職後1年以降しか取得できなかったのが困った。人事異動が多いので。（30～39歳/5～10年未満）
- ☆以前は私がメインで育児をしていましたが、1ヶ月間の夫の育休により、夫も子供の世話や家事ができるようになり、現在は夫婦同等で子育てができるようになりました。（30～39歳/5～10年未満）
- ☆生後6ヶ月で私の仕事復帰時に育休をとってもらいました。初めは娘も慣れず、ぐずる事が多かったですが、徐々にお互い慣れてきて、絆が深まったと思います。またハイハイやお座りができるようになった時期だったので、父として娘の成長を間近で見る事ができて良かったと思います。（30～39歳/5～10年未満）

「男性育休体験」についてのエピソード（抜粋） 4/4

※各コメントの末尾へ（現在の年代/育休取得時の整形外科経験年数）を記載

- ☆育児は赤ちゃんの時だけで終わるものではありません。子供が中学生くらいまで、学校行事に堂々と参加できるようなサポートがあっても良いと思います。（50～59歳/5～10年未満）
- ☆夫は、育休取得以前は帰宅も非常に遅く、土日もほとんどを研究や診療、自己研鑽に時間を費やしていました。しかし育休取得後には、職場の理解が進んだこともありすが、夫本人の意識が変化したことで平日も極力早く帰宅するようになり、土日も家族との時間を持てるよう時間を捻出してくれるようになりました。結果、まだまだ私の勉強時間は足りませんが、ワンオペによる体力的な負担は軽減し、予想していた程は辛くない二人育児をすることができています。（30～39歳/10～15年未満）
- ☆父が育休を取得したところで、その期間に母が復職できるとか自由になるわけではない。母乳授乳があるので母親の方が育休取得が多い、長いのは当然だが、育児（特に新生児期）は昼も夜もなく大変な日が、当直のように1泊で済むわけではなく、しばらく毎日続くので、家族で支えあいながら家事育児をやるべき。家事育児も給料がなくとも仕事である。仕事は職場であれ家庭であれ代わりが効くべき。現在我が家は夫婦共働きだが、通勤時間が父10分、母60分で、保育園の送り迎え、子供の夕食準備・見守りを夫がしている。母は当直で帰れない日があるため、父一人で終日子供の面倒を見る日もよくある。育児の大半は夫が担っており、育児休暇はその基礎になっている。（30～39歳/5～10年未満）